

# 水リステクと企業



グローバルウォータ・ジャパン代表  
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶11

## チリの水事情

チリは日本と同じように南北に細長い国だが、南北4270キロ、東西270キロ、面積75・6万平方キロと日本の約2倍の国土を持つ。東側は標高6千級のアンデス山脈がそびえ、北側はペルーとボリビアに接している。

最南端は南極地域までとあらゆる気象条件を有し、南に行くほど降雨量

が多い。国全体とすれば年間降雨量は約300ミリ

水道の普及率は地域、州ごとに大きな差が生じている。この場合の下水道普及率は下水の函渠(パ

このような上下水道の現状を打開するためにチリ政府は、1990年代後半から企業経営による上下水道の民営化に力を入れた。例えば水メジャーの仏・スエズグルーパやスペインのアグア

ある。日系企業では、大手商社・丸紅が現地のアグアスデシマ社を買収し、ドイツ系移民主体のバルディビア市で大きな成功を収めている。スペイン系の他の自治体では

銅の選鉱には多量の水が必要だが、銅鉱山が数多く存在するアタカマ砂漠の年間降雨量は10ミリ以下である。このため多くの鉱山は、アンデス山脈の雪解け水が何千年の歳

掘り出した銅鉱石(品位0・5〜2%)を微粉砕し、銅精鉱(品位20〜40%)にする浮遊選鉱法で、銅1トを精製するのに約90トの水が必要である。排水のリサイクルだけでは足らず、数百ト離れた海岸から海水を汲み上げ直接使用している。セロネ山も増えている。セロネグロノルテ鉱山開発では、80キロ離れた海岸で海水淡水化を行い、その淡水を利用している。これは三菱商事も参加している海水淡水化プロジェクト(総事業費約410億円)である。

### チリの上下水道普及率

| 項目     | 都市部 | 遠隔地・農村部 |
|--------|-----|---------|
| 上水道普及率 | 99% | 58%     |
| 下水道普及率 | 89% | 5%      |

出典) チリ建設衛生局、2008年統計

### チリ主要鉱物資源の生産量・世界シェアと順位

| 種類   | 世界シェア | 世界順位 |
|------|-------|------|
| 銅    | 36%   | 1位   |
| リチウム | 35%   | 1位   |
| レニウム | 52%   | 1位   |
| ヨウ素  | 62%   | 1位   |

出典) 米国USGS/MCS2011

# 水資源が左右する 国家経済の発展

であり、慢性的な水不足である。

### 上下水道の現状

チリの人口は1690

イブの敷設率を示し、ス・バルセロナ社などが下水の汚水処理率は約24%であり、ほとんどが無処理で放流され水質汚染を引き起こしている。民営化が進んでいる国で

丸紅の勝利であろう。水なければ国家なし  
銅とリチウム資源  
チリの国家収入の約3

月を経て浸透してできた地下水を利用してきた。しかし今、その地下水が過剰汲み上げで枯渇寸前である。

水資源の有無が国家経済の発展を左右しているのがチリの姿である。